

除草剤

クロルフタリム水和剤

ダイヤメート[®]水和剤

有効成分：クロルフタリム……………50.0%

農林水産省登録 第14638号

性状：類白色水和性粉末 45 μ m以下

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：4年

包装：500g \times 20

ダイヤメート[®]は日本農薬(株)の登録商標です。

特長

- 広範囲の1年生雑草を防除し、イネ科雑草に高い効果を示します。
- 残効性に優れた、抑草期間の長い土壌処理型除草剤です。
- 本剤は土壌中で比較的安定するので、各種土壌に適用できます。
- 土壌中の移行性が小さく、土壌表層に薬剤処理層を作るので、発芽後幼芽部が接触し褐変枯死します。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	クロルフタリムを含む農薬の総使用回数
			薬量(g)	希釈水量(L)			
日本芝(こうらいしば)	一年生雑草	春季雑草発生前	400~600	300	2回以内	全面土壌散布	2回以内
		秋季雑草発生前	600				
西洋芝(ベントグラス)	コケ類	秋冬期芝生育期(コケ類生育期)	200~600	200~300		雑草茎葉散布	
すぎ(床替床) ひのき(床替床) あかまつ(床替床) くろまつ(床替床) からまつ(床替床)	一年生雑草	雑草発生前	400~600	150		全面土壌散布	
つつじ類				100	畦間土壌散布		
たばこ(折衷マルチ栽培)		畦立直後但し、 植付10日前まで	200	100~200	1回	畦面土壌散布	1回
		前年秋季 施肥畦立時					
きく		定植前(雑草発生前)	400~800	100		全面土壌散布	

使用上の注意事項

- アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- 散布液調製後は、そのまま放置せずできるだけ速やかに散布してください。
- 本剤は雑草発生前の処理の効果は高いですが、既発生の雑草には効果が劣るので雑草発生前に全面にむらなく散布してください。
- イネ科雑草に比べ、キク科などの広葉雑草に対しては効果がやや劣るので、広葉雑草の優占する所では所定範囲の多めの薬量で使用してください。
- 散布液量が少なく効果が不均一になる場合もあるので、所定の散布薬量に希釈して使用してください。
- 芝生中及び周辺の植物にかかると薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 春期に日本芝に使用する場合、萌芽した新芽には、葉先褐変などの薬害を生ずることがあります。芝の萌芽前に散布してください。
- 秋期に日本芝に使用する場合、発芽後のスズメノカタビラには効果が劣るので、スズメノカタビラの発生前に散布してください。とくに高温時に薬害が出やすくなるので注意してください。
- ターフ形成前の芝生には使用をさけてください。
- たばこに使用する場合、植付時、処理土壌がたばこの茎葉に接触しないように注意してください。
- たばこのトンネル栽培、改良畦面栽培では使用しないでください。
- 薬液調製容器や散布器具は使用後十分水洗いしてください。
- 水源地、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。

- 適用作物群に属する作物、又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。尚、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 散布の際は、マスク、手袋などをして散布液を吸い込んだり、浴びたりしないように注意し、作業後は顔、手足など皮膚の露出部を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 本剤による中毒の治療法としては動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の併用投与が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。